



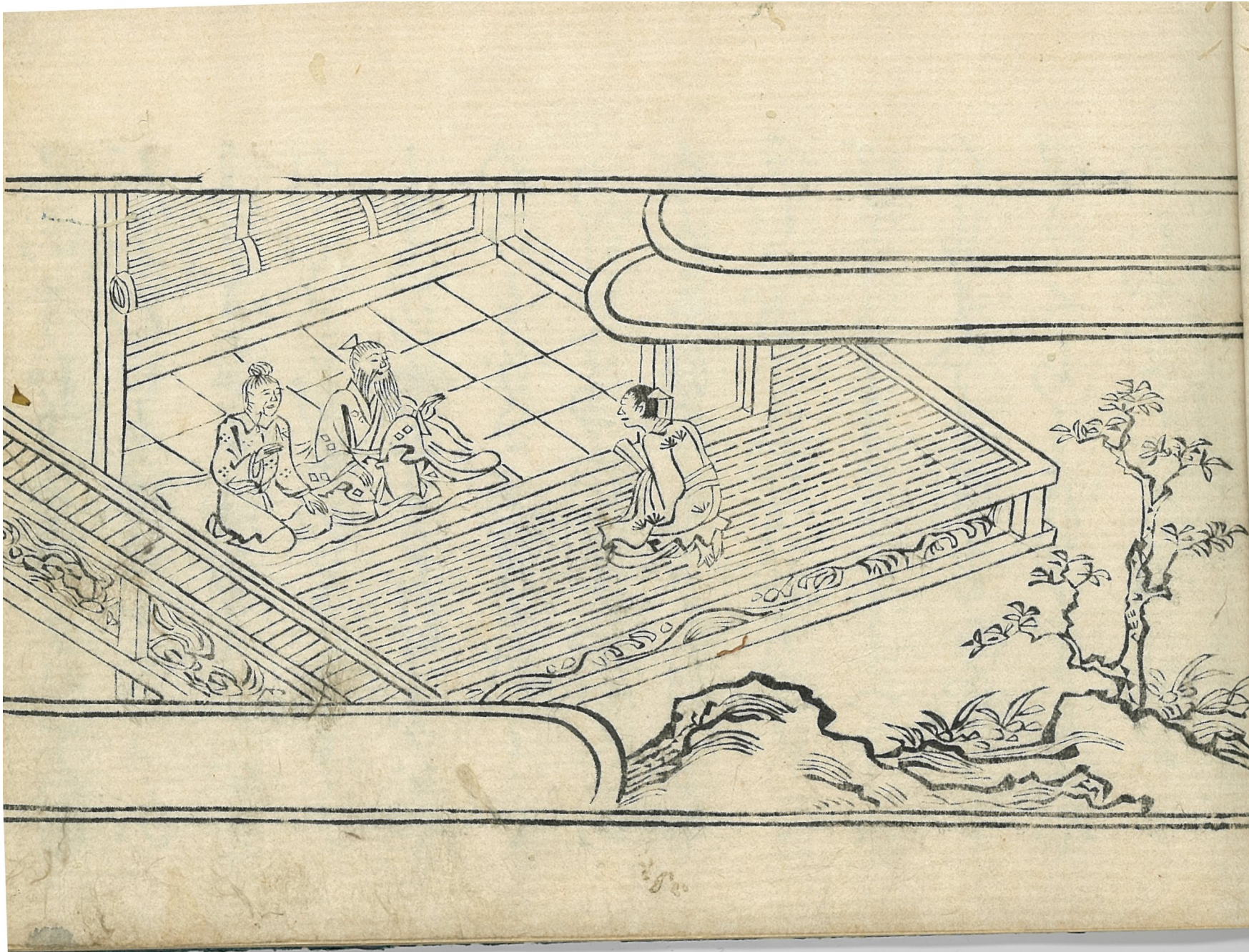
Handwritten Japanese text in Kuzushiji style, written vertically on aged paper. The text is arranged in approximately 12 columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and cursive, characteristic of the Edo period. The paper shows signs of age, including discoloration and some staining.

七草草紙

そも／＼正月七日に、野
に出で、七草をつみ
て、みかどへ供御に備ふる
といふなる由来を尋
ぬるに、もろこし楚國
のかたはらに、大しうと
いふ者あり。かれは親に
孝ある者なり。既に、
はや百歳に及ぶ
父母あり。腰なども
かゞみ、目などもかすみ、言ふ
ことも聞えず。さるほど
に老いければ、大しうこの

子ありしは、
七草草紙の
七草草紙の
七草草紙の

Handwritten Japanese text in Kuzushiji style, arranged vertically from right to left. The text is written on aged, yellowish paper. The characters are highly stylized and cursive, typical of the Edo or Meiji periods. The text appears to be a list or a set of instructions, possibly related to a workshop or a specific craft. The characters are difficult to decipher due to their cursive nature, but they seem to be organized into several distinct vertical columns.



大しう思ふやうは、二人の
親の御姿を、二たび
若くなさまほしく思
ひて、明け暮れ天道
に祈りけるは、「わが親
の御姿、ふたゝび若く
なしてたび給へ」と、
神三宝に訴へ、
「これかなはぬものならば、わ
が姿に転じかへてた
び給へ。わが身は老とな
りて朽ちはつるとも、二人
の親を若くなし給へ」と、

大しう思ふやうは、二人の
親の御姿を、二たび
若くなさまほしく思
ひて、明け暮れ天道
に祈りけるは、「わが親
の御姿、ふたゝび若く
なしてたび給へ」と、
神三宝に訴へ、
「これかなはぬものならば、わ
が姿に転じかへてた
び給へ。わが身は老とな
りて朽ちはつるとも、二人
の親を若くなし給へ」と、

あたり近きとしつ山

によぢ上りて、二七日(注二十一

日の意)

が間、つまさきをつま
だて、肝胆を碎き

祈りける。さても諸天

諸仏は、これをあはれみ

給ひ、三七日満ずる暮

方に、かたじけなくも

帝釈天王は天

降り給ひ、大しうに

向つてのたまふやうは、

「汝浅からず親を

あはれみ、ひとへに天道

あはれみ、ひとへに天道

あはれみ、ひとへに天道

Handwritten Japanese text in Kuzushiji style, written vertically on aged paper. The text is arranged in approximately 12 columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and cursive, characteristic of the Kuzushiji script. The paper shows signs of age, including yellowing and some staining.

に訴ゆる事、上は
 梵天帝釈、上
 品上生、下は、
 りんしんかいほん（龍神戒品）までも、
 納受を垂れ給ふに
 よつて、われこれまで来るなり。いで
 汝が
 親を若くなさん」とて、
 薬を与へ給ふぞあり
 がたき。「しかるに須弥の南
 に、白鷺鳥といふ鳥
 あり。かの鳥の長生を
 する事、八千年なり。

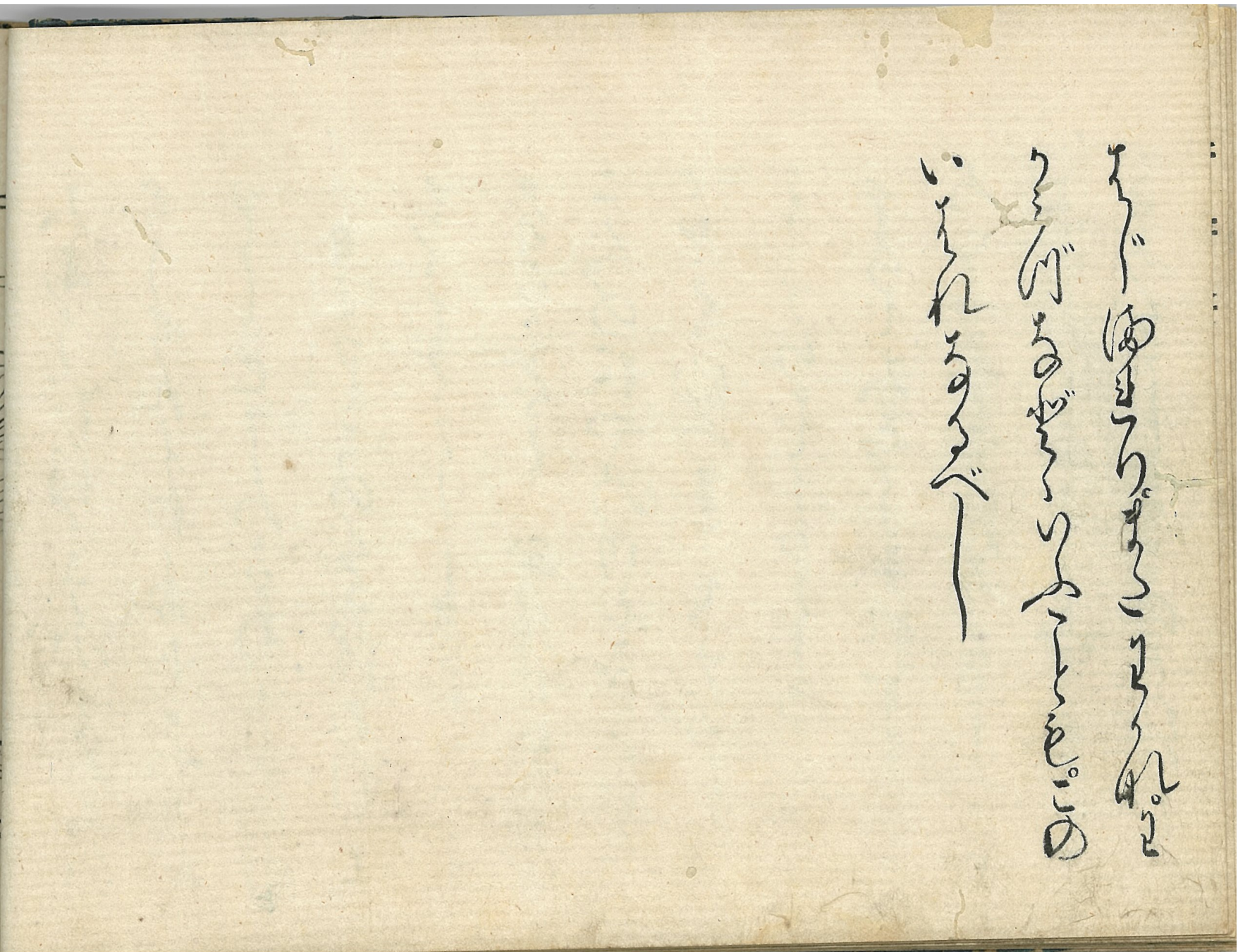
八千八百八十一年
 八千八百八十一年

この鳥春の初め
ごとに、七色の草を
集めて服する故に、
長生をするなり。白鷺
鳥の命を汝が親
の命に転じかへて
取らせん。七色の草を集
めて、柳の木を盤に
のせて、玉椿の枝
にて、正月六日の酉の
時より始めて、この草
をうつべし。酉の時に
は、芹といふ草をうつべし。

この鳥春の初め
ごとに七色の草を
集めて服する故に
長生をするなり
白鷺鳥の命を汝が親
の命に転じかへて
取らせん七色の草を
集めて柳の木を盤に
のせて玉椿の枝にて
正月六日の酉の時
より始めてこの草を
うつべし酉の時に
は芹といふ草をうつ
べし

Handwritten Japanese text in Kuzushiji style, written vertically on aged paper. The text is arranged in approximately 12 columns, reading from right to left. The characters are highly stylized and cursive, characteristic of the Kuzushiji script. The paper shows signs of age, including a prominent water stain on the left side.





い
は
れ
な
る
べ
し
。

生まれり。また若菜、若
水などいふことも、この
いはれなるべし。



さるほどに、此の事天下にかくれなし。帝も叡聞まし／＼て、世にたぐひなき事なりとて、急ぎ大しうを雲上へ召され、長安城のみかどの御位を、大しうにゆづり給ふ。これすなはち親に孝ある故なりと、
聞く人
殊勝に

らるるほどに、此の事天下にかくれなし。帝も叡聞まし／＼て、世にたぐひなき事なりとて、急ぎ大しうを雲上へ召され、長安城のみかどの御位を、大しうにゆづり給ふ。これすなはち親に孝ある故なりと、
聞く人
殊勝に

ありがたく、
皆感
涙
をもよほしけり。
正月に
筋も
なき者を
位に
なし給ふを、
県召
といふ
ことあり、


わがし
こと
からふ



🍏
ストア
Mac
iPad
iPhone
Watch
AirPods
TV & Home
エンターテインメント
アクセサリ
サポート
🔍
🛒

App Storeプレビュー

このアプリは、iPhoneのApp Storeでのみご利用いただけます。



コトバンク：国語辞典・英和和英辞書などを横断検索 (4+)

スマホ辞書アプリの決定版

[genesis](#)

「辞書／辞典／その他」内105位

★★★★☆ 3.1 • 278件の評価

無料・アプリ内課金があります

iPhoneスクリーンショット

115辞書186万語から検索

オンライン辞書モード


小学館・講談社・ブリタニカジャパンなど
日本を代表する辞書・事典・データ集を
多数収録



複数辞書を横断検索

オンライン辞書モード

国語辞典・英和和英辞典から
百科事典まで。色々な書誌を
1度に検索できる



使いやすい重視

単語帳・履歴

覚えにくい単語は単語帳に登録して
覚えたら削除。
履歴は眺めるだけでも楽しい



ちょっとした知識が増える

今日のキーワード

最近よく聞くあのワード
なんとなく知ってるつもりのあのワード
調べなくても教えてくれる

